



# 4月8日はお釈迦さまのお生まれになられた日

## 「花祭り」を催しお祝いする日です

花まつりとは？

何をする行事？

なぜ花をたくさん飾るのか

4月8日は、お釈迦さまの誕生日をお祝いする「花まつり」の日です。正式には「灌仏会」と言いますが、花で飾られたお堂(花御堂)でお祝いすることから、親しみを込めてそう呼ばれています。

花まつりに花を欠かさないのは、お釈迦さまが「ルンビニ園」という美しい花園でお生まれになったからです。

その時、庭園にはアシロカの木の花が咲き誇り、世界中が誕生を祝福しているようだったと伝えられています。そのため、花まつりではお釈迦さまが誕生された時の美しい花園を再現するために、たくさんのお花でお堂を飾り、華やかにお祝いをするのです。

誕生の瞬間に歩まれた

「7歩」の意義

お釈迦さまは誕生直後、東西南北に7歩ずつ歩まれたと伝えられています。なぜ「7」なのか、そこには深い仏教的な意味があります。

仏教では、私たちが迷いの中で生まれ変わりを繰り返す状態を「六道」と呼びます。地獄、餓鬼、畜生、阿修羅、人、天の6つの世界です。

お釈迦さまが7歩目を踏み出したのは、この6つの迷いの世界を超えたことを象徴しています。つまり、お釈迦さまの誕生は「迷いから抜け出し、悟りを開く道を示した」という大きな意義が込められているのです。

今日のことば

思い通りになることが  
幸せならば  
誰も決して  
幸せになれない

浄土真宗僧侶 和田隆恩

現代を生きる

私たちがへのメッセージ

お釈迦さまが示した「7歩目」は、私たちにも開かれています。悩みという「迷い」の中においても、そこから一歩踏み出し、命のあり方を見つめ直せるという希望のメッセージです。



# 老田仏教会釈尊降誕会

(はなまつり：お釈迦さまの誕生会)

日時 4月4日(土) 午後1時30分より3時まで

会場 専称寺(中老田) どなたでもお参りできます是非お参りください

